



 ILSI Japan

The 8th International Conference on Nutrition and Aging

第8回 「栄養とエイジング」 国際会議

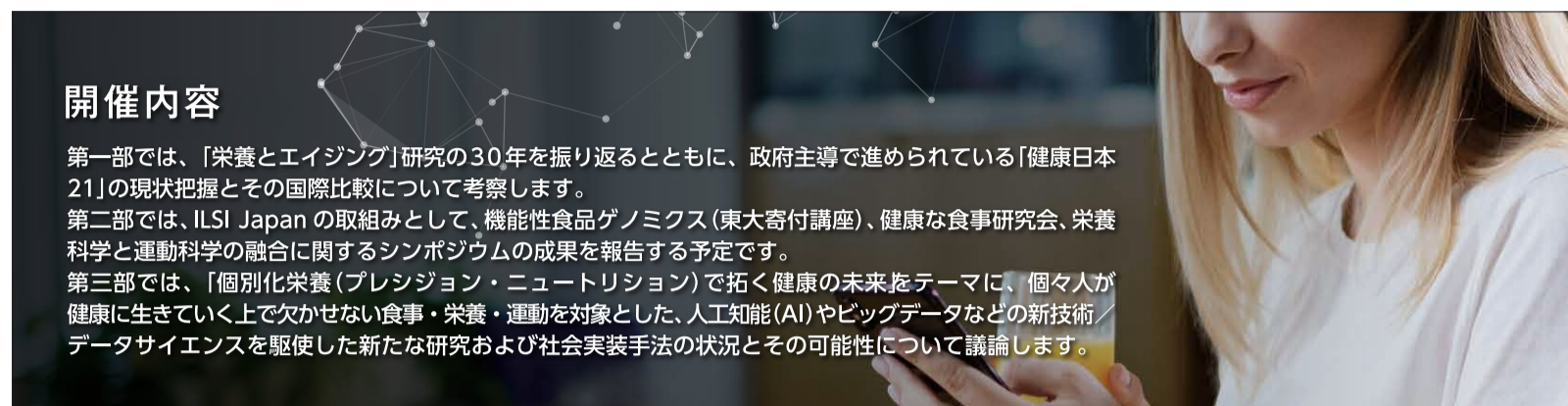
平均寿命と健康寿命が
一致する社会の実現

開催概要

- | | | | |
|-------|---|--------|-------------------------------------|
| ■ 日 時 | 2019年10月1日(火) - 2日(水) | ■ 参加費 | |
| ■ 場 所 | 国際連合大学 ウ・タント国際会議場
〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70 | 会 員 | 25,000円(事前登録 20,000円) |
| ■ 主 催 | 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) | 非 会 員 | 30,000円(事前登録 25,000円) |
| ■ 共 催 | ILSI Europe, ILSI Southeast Asia Region | 学 生 | 7,000円(事前登録 5,000円) |
| ■ 用 語 | 日本語・英語(同時通訳付き) | 申込方法 | ウェブサイトからの申し込み
(2019年6月開始予定) |
| | | ■ 申込期限 | 2019年9月15日(日)
【事前登録締切: 7月31日(水)】 |

国際会議のねらい

International Life Sciences Institute, ILSI は、1978年にアメリカで設立された非営利の団体です。ILSI Japan は ILSI の日本支部として 1981年に設立され、その 10周年記念として、1991年に第 1 回「栄養とエイジング」国際会議を開催し、以降 4 年に一度、同国際会議を開催して参りました。今回の第 8 回会議は、2012 年の厚生労働省「健康日本 21 (第 2 次)」の中で掲げられた「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」Sustainable Development Goals (SDGs) に鑑み、世界に先駆けて超高齢社会を迎えている日本が、アジア全体を見据え、栄養とエイジングの分野で「健康寿命の延伸」実現の方向性を示し、世界に貢献することを目指し企画しています。



開催内容

第一部では、「栄養とエイジング」研究の30年を振り返るとともに、政府主導で進められている「健康日本21」の現状把握とその国際比較について考察します。

第二部では、ILSI Japanの取組みとして、機能性食品ゲノミクス(東大寄付講座)、健康な食事研究会、栄養科学と運動科学の融合に関するシンポジウムの成果を報告する予定です。

第三部では、「個別化栄養(プレジジョン・ニュートリション)で拓く健康の未来」をテーマに、個々人が健康に生きていく上で欠かせない食事・栄養・運動を対象とした、人工知能(AI)やビッグデータなどの新技術/データサイエンスを駆使した新たな研究および社会実装手法の状況とその可能性について議論します。

PROGRAM

10月1日/【1日目】

開会の挨拶		宮澤 陽夫 ILSI Japan 会長
Session 1 : オーバービュー		
長寿社会の課題と可能性	座長: 岩元 睦夫	秋山 弘子 東京大学 名誉教授
日本の栄養政策の歴史		正林 督章 国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長特任補佐
健康日本 21 (第2次)の現状と課題	座長: 辻村 英雄	辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻 教授
International Research Developments Focus on Human Variation in Response to Food and Nutrients		Dr. Richard Head 南オーストラリア大学 がん研究センター名誉教授 オーストラリア
総合討論	セッション1 講演者全員 及び モデレーター 辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科 教授	
Session 2 : ILSI Japanの取り組み		
健康な食事研究会	座長: 中村 丁次	安川 拓次 ILSI Japan 理事長
健康な食事研究会(健康な食事の概念構築)		佐々木 敏 東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授
健康な食事研究会(中食の実態把握)		坂田 隆 石巻専修大学理工学部 教授
健康な食事研究会(社会実装)		桑田 有 人間総合科学大学大学院 教授
東京大学機能性食品ゲノミクス(寄付講座成果の総括)	座長: 阿部 文明	阿部 啓子 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
第9回ライフサイエンス・シンポジウムー総括 栄養科学と運動科学の融合		宮地 元彦 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部 部長
総合討論	セッション2 講演者全員 及び モデレーター 宮地 元彦 国立健康・栄養研	

10月2日/【2日目】

Session 3 : 個別化栄養(プレジジョン・ニュートリション)で拓く健康の未来		
基調講演		宮田 裕章 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授
先端データサイエンス(AIと個別化医療)	座長: 阿部 圭一	井元 清哉 東京大学医科学研究所 教授
Personalizing Nutrition for Healthy Aging		Dr. Jose Ordovas タフツ大 教授 アメリカ
Gut Microbiome and Nutrition	座長: 国澤 純	Dr. Doris Vandeputte ルーベン大 ベルギー
Sub-genomic variation in the gut microbiome associates with human metabolic health		Dr. David Zeevi ロックフェラー大 教授 アメリカ
アミノ酸バイオマーカー	座長: 谷口 茂	木村 毅 味の素(株)取締役 常務執行役員
運動・身体活動と普及科学		鎌田 真光 東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野 助教
時間生物学: 生物時計と生体リズム		山仲 勇二郎 北海道大学大学院教育学研究科 准教授
パネルディスカッション	セッション3 講演者全員 及び モデレーター 宮田 裕章 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授	
閉会の挨拶		安川 拓次 ILSI Japan 理事長